

世の中の流れを大切に作る大人に

全国的に感染者が減少してきました。岐阜県においても、昨日の新規感染者は二名でした。それを知るとほっとはしますが、決して油断はできません。東濃地区の某市では、十月下旬から十一月初旬にかけてクラスターが発生しました。それに伴い、十一月末日まで、市独自の非常事態宣言が発令されています。

新規感染者が三十六日間ゼロだったその市にクラスターが発生したのは、市内の飲食店でした。その店では、マスクなしの飲食やカラオケが行われてたようです。皆さんはそれを知って、どう思いますか。何だか不愉快な気分になりませんか。裏切られたようなすべてを台無しにされたような……私にはそんな感情が生まれました。もちろん、客にも従業員にも面識はありません。しかし、世の中が一致団結して感染を食い止めようと頑張っているこの時期に、軽率ともとれる行動をとった人達に同情はできません。一日も早くクラスターが終息することを願うばかりです。

全体が同じ方向に向かって進んでいるときに、足並みを乱したり単独プレーをしたりする人は、いつでもどこにでもいるものです。とりわけ社会の中には、これといった理由なく反対する人たちや、「我関せず」を決め込んだりする人は必ずいます。したがって、百パーセントを実現することは不可能です。取り組んでいる内容にもよりますが、七割八割の人たちの協力が得られればよいと私は考えています。(やはり、感染症対策については、百パーセントに近い人たちの協力が得られないと終息とはなりませんね。)

学校生活においても、同様の状況が生まれています。皆で取り組みもうとしてても、それになかなか協力できない仲間や理性を抑えられない仲間がいるようです。

写真は三年廊下の掲示板に貼られている取り組み表のリーダーのコメントです。それを読んで、クラスターが発生した市と同じ状況が生まれていると私は思いました。多くの生徒が一日を過ごす学校での消毒の必要性は、だれもがわかっているはずです。学校が日常を取り戻し、順調に学校生活が進んでいるのは、こういう地道な感染症対策が徹底できているからだと認識すべきです。

市という大きな社会の中で、感染症対策の徹底について、百パーセントを達成することはほぼ不可能でしょう。しかし、瑞浪北中という小さな社会の中では、決して不可能ではないと私は信じています。なぜなら、その中にいるのは、クラスメートであり、同級生であり、そして、北中で学んでいる仲間だからです。呼びかけに応えたり、仲間に協力したりすることを学ぶのが学校だからです。社会に出ても、命や体、そして幸福を守るために世の中の流れを大切に作る大人になってください。

(十一月九日 記)

消毒をい
たかた子に
消毒してよ
とい、た。